

学校教育目標
心豊かで しなやかに
生きる力 を育成する

西ノ京

京都市立西ノ京中学校
学校だより ②
令和元(2019)年5月31日
校長 内田 隆寿

第61回 京都市中学校春季総合体育大会 西ノ京中 健闘と栄誉の軌跡！

第61回を迎える京都市中学校春季総合体育大会がGW10連休のスタートとなる4月27日(土)に開幕し、各会場で熱い戦いが繰り広げられました。各部活動の主な結果については、下に掲載した通りですが、5月9日(木)には全校集会をもち、入賞した団体・個人の表彰と春体に参加したすべての部の健闘をたたえ合いました。また、集会の冒頭には開会式での本校選手団の行進の様子を収めたビデオを全員で視聴しました。当日は例年になく肌寒い気温となり、ユニフォーム姿の選手の皆さんには体調管理が大変だったと思いますが、そのような中、ビデオに映っている他校の行進の様子と比較してみると、いかに本校の行進が美しく立派であったかがよくわかりました。なお、各部活動の春体の様子は本校ホームページにも写真入りで掲載していますのでご覧いただけます。



この春の結果は、やはり日常の練習におけるたゆまぬ努力のたるものであると思いますが、それは単に技術の向上を目指すだけでなく、ルールやマナーを守るひとりのプレイヤーとして成長していく(スポーツマンシップを身に付ける)ことも目標であったと思います。このこともしっかり頭に置きながら、また夏の目標に向かって歩みを進めてほしいと思います。

女子ソフトテニス部 団体 準優勝 !!

団体	2回戦 対向島東中	3-0で勝利
	3回戦 対近衛中	2-0で勝利
	4回戦 対神川中	3-0で勝利
	準決勝 対京都文教中	2-1で勝利
	決勝 対京都光華中	0-2で敗退
個人	6ペアが出場、3ペアが夏季大会予選免除権獲得	



女子バスケットボール部 第3位 !!

2回戦	対大谷中	107-16で勝利
3回戦	対藤森中	95-21で勝利
4回戦	対上京中	58-38で勝利
5回戦	対西賀茂中	67-29で勝利
準決勝	対京都精華中	43-107で敗退
シード決定	対加茂川中	46-35で勝利



陸上競技部

男子 10種目 16人、女子6種目 11人が出場

決勝 〈男子〉 800m 東村 航明
第2位 2'05"86

野球部 1回戦 対樺原中 0-3(延長9回)で敗退



男子バスケットボール部

- 2回戦 対衣笠中 57-48 で勝利
3回戦 対下京中 67-66 で勝利
4回戦 対高野中 49-48 で勝利
5回戦 対修学院中 24-92 で敗退
5-8位決定 対京都御池中 48-49 で敗退



サッカー部

- 2回戦 対洛水中 6-0 で勝利
3回戦 対上京中 0-0 (PK 5-4) で勝利
4回戦 対桂中 0-0 (PK 3-5) で敗退

柔道部 男子団体 ベスト8

- 予選 対神川中 5-0 対京産大附属中 0-5
対東山中 3-2 (2勝1敗)

決勝 対桂中 0-5 で敗退

男子個人 7名が出場、そのうち2名がベスト8

女子バレーボール部

男子ソフトテニス部

- 2回戦 対松尾中 2-1 で勝利
3回戦 対衣笠中 0-2 で敗退

- 団体 1回戦 対久世中 1-2 で敗退
個人 4ペアが出場、2~4回戦で敗退

卓球部 男子団体 予選 対桂川中 0-3 で敗退

- 女子団体 予選 対岡崎中 0-3 で敗退 個人 女子1名全市1回戦敗退



3年修学旅行 沖縄へ！～旅の学びは五感から～

5/18(土)～20(月)、本校としては3年ぶりの沖縄への修学旅行を実施しました。沖縄は梅雨入りということで少し心配しましたが、日ごろの3年生の行いがよかったです。天の神様も我々の味方をしてくれたようで、天候にもほぼ恵まれた素晴らしい修学旅行となりました。

1日目、まずは飛行機。初めて乗ったという人も多かったのではないでしょうか。離陸した瞬間、歓声と拍手が起きました。現地では、太平洋戦争末期、日本において唯一の地上戦の場となった沖縄について、事前学習で学んだ知識をもとに改めて考えました。多くの戦没者の名前が刻まれた平和祈念公園「平和の礎」でのセレモニーでは平和宣言を行い、次に訪れた「糸数アブチラガマ」では懐中電灯を手に暗闇を進み、ガイドさんから当時の様子のお話を聴きながら、平和への願いを新たにしました。その後、民泊体験をする南城市に到着。お世話になる民家さんと対面する入市式では沖縄の民謡「あしひなー(遊び庭)」にのせた歓迎の踊りで出迎えていただき、車でそれぞれの民家さんへと分かれていきました。民家さんでは“美味し過ぎる”夕食など、おじい・おばあ・おとお・おかあの「うとういむち」(沖縄の方言で「おもてなし」)を受けました。



2日目午前は、あざまサンサンビーチに集合。絶好の天候に恵まれ、海水浴、砂浜でのビーチバレーなど、思い思いに沖縄の青い海を満喫しました。その後、民家さんで昼食と体験を行い、夕方には2泊目のホテルに集合しました。退市式では、お世話になった民家さんに歌「時をこえ」(HYというインディーズバンドの沖縄音階の楽曲)をプレゼントし、全員で写真を撮り別れを惜しんでいました。この日の夕食はバイキングで、好きなものを好きなだけ食べた後、クラス対抗レクレーション大会で大いに盛り上りました。

3日目は、お待ちかねの国際通り班別研修です。最大のお目当ては何と言ってもお土産選びと沖縄グルメの昼食。紅いもタルト、ちんすこう、シーサー、ぬちまーす、ソーキそば、タコライスなど、時間ぎりぎりまで楽しみました。そして、集団行動で大切な集合時間もバッチリでした。

3日間の沖縄修学旅行。実際に現地を訪れ、その土地を歩いてみたり、そこに暮らす人々と言葉を交わしたりして、そこでしか感じ取ることができない“空気感”を3年生の若々しい五感で満喫することができたのではないでしょうか。一生に一度体験できるかできないかの心に残る宝物のような時間を過ごすことができたと思います。

